

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

区政に対する基本的な考え方

清家 あい

たけい雅昭

目指すべき将来像

港区の圧倒的なポテンシャルを活かして、民間の発想とテクノロジーを活用し、世界をリードする「愛があふれる国際都市 港区」をつくっていく。人に優しい「地域社会」をつくる。

先人たちのたゆまぬ努力により、他に類を見ない日本有数の都市へと発展した港区を更に強靱で、潤いのある国際都市へと進化させ、次代を担う子どもたちに引き継げる、誰もが生まれ、育ち、暮らす喜びを感じ、いつまでも健康で快適に住み続けられる、誇りに思える「唯一無二の港区」

現状認識

20年以上ビジョンが見直されず、全体の計画が新しい目で見直されてこなかった。都市経営のあり方、防災、少子高齢化対策、まちづくり、区政全般に渡り、新しい発想でビジョン、政策をアップデートすることが必要。

当面、総人口の増加が続くが、人口移動も激しく、若年層の定着率が低い。高齢者は年々増加する見込みで要介護・要支援認定者や障害者も増加していく。首都直下地震の発生が危惧され、台風や集中豪雨等の風水害も激甚化する中、高層住宅の震災対策や感染症対策も含む在勤者・来街者の安全対策が必要である。

解決したい課題

- ・人口動態の変化など時代の変化に合わせた区民ニーズ対応の遅れ
- ・区役所教育・福祉現場の疲弊
- ・防災対策が街の現実に対応していない
 - 行政の縦割り・前例主義による対応の遅れ
 - 正確なニーズ調査／評価の必要性
 - 必要な対「人」サービスへの投資
 - 民間の知識等、新たな視点や手法の導入の必要性

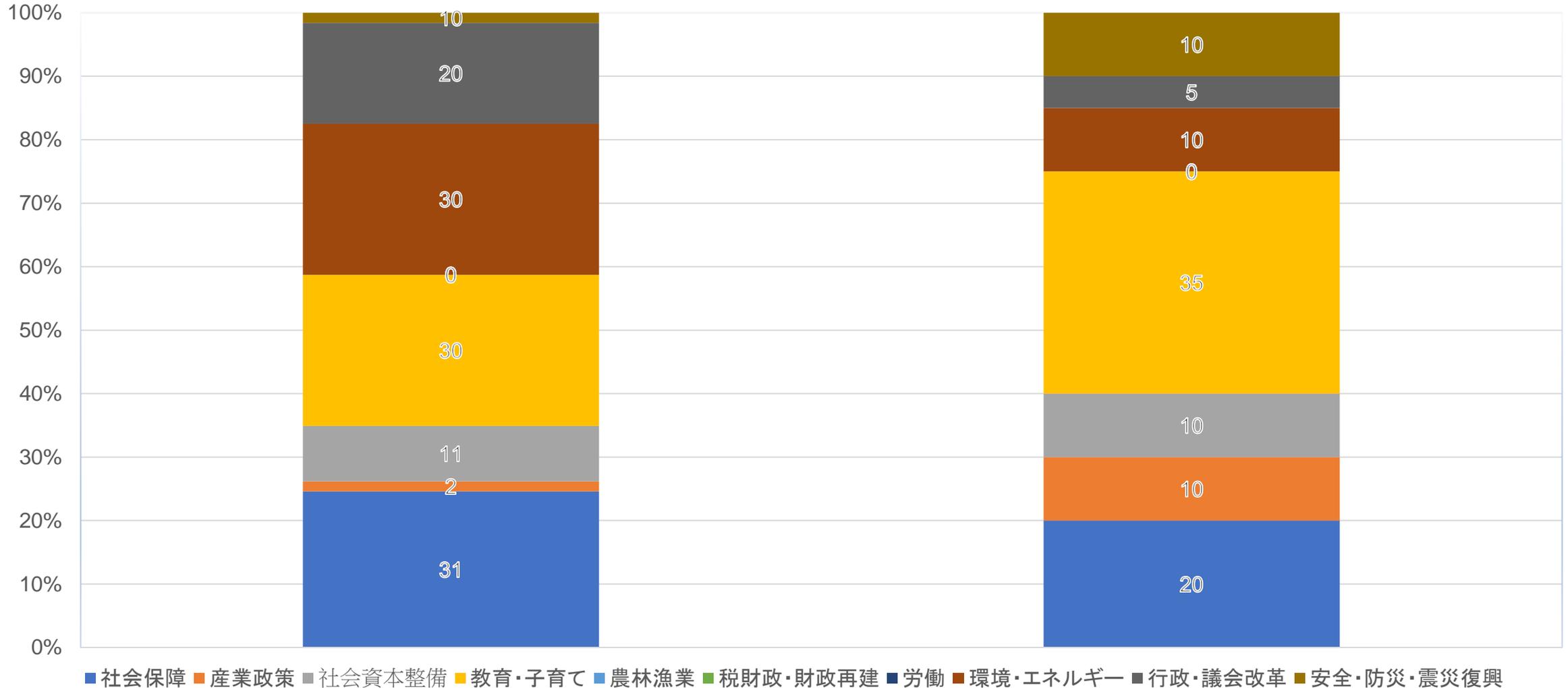
- ①区民一人ひとりの暮らしに応じたサービスを適確に提供し、互いに顔が見え、支え合える地域づくりの実現
- ②港区の地域特性を踏まえた地域防災力の向上と災害対応力の強化
- ③コロナ禍で構築した医療機関、企業・民間団体、地域との繋がりを基盤にした強固な感染症予防体制の確立

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野へ）の配分

清家 あい

たけい雅昭



課題を解決するための重要政策

第1優先

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先

清家 あい

たけい雅昭

政策

教育・子育て

関東大震災100年を節目に「強靱」なまちづくりを加速する

数値目標

- ・首都直下地震等による人的・物的被害を概ね半減
- ・港区衛生試験所のPCR検査の実施能力
発生～発生後6か月 80件／日
発生後6か月以降 160件／日
- ・港区衛生試験所の検査機器の確保数
リアルタイムPCR装置 4台
- ・人員確保

流行状況の段階	保健所の人員確保	即応可能なIHEAT要員
①流行初期 (発生の公表～1か月)	128人	0人
②流行初期 (1か月～3か月)	155人	18人
③流行初期以降 (3か月～6か月)	202人	18人

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先

清家 あい

たけい雅昭

期限

2026年まで

令和10年度

分野

教育・子育て

①安全・防災・震災復興 ②社会資本整備

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第1 優先

清家 あい

たけい雅昭

予算

33億円

500億円

手段

少子化対策: 部署横断の「少子化対策チーム」設置。こども政策監を配置し、数値目標を掲げ、PDCAサイクルを回す。

教育・保育サービス最適化: 幼稚園と保育園の一体的整備、病児保育・障害児保育の不足ゼロ、フリースクール等多様な教育のあり方を認め支援

教育現場支援、スペシャルニーズ支援、不登校対策は、スピード感を持ち実現

住宅の耐震化、
高層マンション単位での在宅避難を支える震災対策、
災害時要配慮者支援、
防災井戸の整備、
震災後の復旧・復興財源の確保、
総合支所を核とする地域の事情に即した防災機能・体制の強化、
消防団の訓練場所の確保と装備品の充実、
新たな感染症への備えと防御

課題を解決するための重要政策

第2優先

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先

清家 あい

たけい 雅昭

政策

社会保障

次代を担う「子ども」を地域全体で育むまちをつくる

数値
目標

子育て世帯・子どもの転出超過率の解消

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先

清家 あい

たけい 雅昭

期限

2026年まで

令和10年度

分野

社会保障

①教育・子育て ②社会資本整備

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先

清家 あい

たけい雅昭

予算

16.75億円

1800億円

手段

高齢者人口の急増予測に合わせた介護サービス提供、現状不足分すら正確に把握されていない障害児・者支援のための障害者グループホーム、放課後等デイサービス、移動支援などの全体計画の見直し。
また、福祉の質の部分で福祉現場の支援方法を検討。

若年夫婦・子育て世帯の実情に即した住環境の充実、安心して妊娠・出産できる環境づくり、待機児童ゼロの継続と保育の質の向上、不安をなくす在宅子育て支援、病児・病後児保育の充実、誰でもいつでも利用できる保育サービス、施設間送迎のある放課後ディサービス、高校生の居場所づくり、国際理解教育の推進

課題を解決するための重要政策

第3 優先

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3 優先

清家 あい

たけい 雅昭

政策

安全・防災・震災復興

「誰もが安心して住み続けられるまち」に進化させる

数値
目標

「高齢者のいきいきと充実した地域での生活を支援する」について
満足している区民の割合50%

「障害者のゆたかで自立した地域での生活を支援する」について
満足している区民の割合50%

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3 優先

清家 あい

たけい雅昭

期限

令和10年度

分野

安全・防災・震災復興

①社会保障 ②社会資本整備

2024年 港区長選挙 公開討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第3 優先

清家 あい

たけい雅昭

予算

2.25億円

1000億円

手段

エレベーター閉じ込め1300台以上(8基に1基)と想定される中で、メーカー調査を含め全体状況の把握と対策、防災マニュアル策定支援についても検討。
「避難の流れ」「帰宅困難者対策」「震災復興基金」「減災対策」についても、現実的な見直しが必要。
専門家を交え検討委員会を設置。

高齢者・障害者一人ひとりの事情に応じた住環境の充実、身近な場所での特別養護老人ホームの整備、健康寿命を延ばせるフレイル予防、親なき後を見据えた障害者支援、快適な歩行空間や円滑な移動のための基盤整備、家族の一員としてのペット支援、誰もが気軽に生涯楽しめるスポーツの機会と環境の確保